



健康スポーツグループとは

崇城大学の建学の精神は「体・徳・智」です。つまり「健康で徳・智を備えた科学的思考の秀れた人材の育成」では、社会人としての原動力である強靱な体力が必要と考え、「体」を最初に置いています。健康スポーツグループでは、心身の健康と体力の維持・増進を目指して、知識（理論）のみならず、スポーツ活動を通して実践力の育成を目指しています。さらに「健康度・生活習慣診断調査」や「体力診断調査」を実施することで、現状を自己分析して自律した生活習慣の確立を手助けします。そうした活動を通して、チームワークやコミュニケーション能力の向上、豊かな人間性の向上を図り、「社会で貢献できる人材の育成」を目指しカリキュラムを構成しています。

カリキュラムポリシー

- ・スポーツ活動を通じて心身の健康、体力の維持増進を図り実践していく能力を体得します。
- ・仲間に敬意と思いやりの気持ちで接しチームワーク（協調性）の重要性を学修します。
- ・和を尊び、集団の中で個人を尊重する精神を養い、自己表現が出来るコミュニケーション能力の向上を学修します。
- ・実社会で必要となる礼儀作法を学修します。
- ・スポーツ活動の中で自発的に人間性の向上を図ることを学修します。

1年次前期

1年次後期

2年次以降

「健康スポーツ教育Ⅰ」
【実技】
(必修、薬学部選択必修)

「健康スポーツ教育Ⅱ」
【実技】
(必修、薬学部選択必修)



理論と実践の融合

自立・自律した学生生活の確立

「健康科学概論（講義）」
(選択必修、教職課程必修)

授業例
「健康スポーツ教育Ⅰ・Ⅱ」

バレーボールやソフトボール、テニス、卓球、サッカー、バドミントン、空手などの種目別に授業を展開し、心身の健康と体力の維持増進させます。また学生リーダーを選び、リーダーを中心に自主運営を行い、チームワークやコミュニケーション能力を修得していきます。

「健康スポーツ実習」
【実技】
(選択必修)

生涯に渡る
仲間づくり
健康・体力づくり

